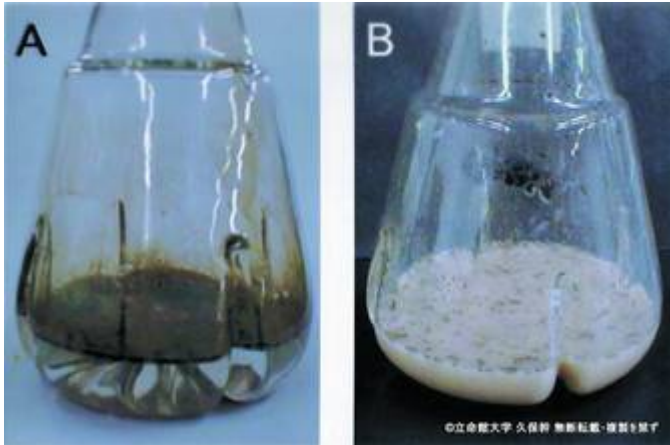


この写真は、石油を食べる微生物の働きを示したものです。

微生物を増やすには、微生物の好きな食べ物と環境（温度など）を用意すればよいので、石油を食べる微生物を増やしたいときには、石油を栄養分として与えます。



フラスコに石油を入れると、水の上に黒い石油が浮いてきます（写真A）。これは石油を食べる微生物を投入する前の様子で、石油が海に漏れだした時の状況に似ています。

このフラスコに石油を食べる微生物を入れ、空気を混ぜながら培養する（育てる）と、微生物は石油をパクパク食べてどんどん増殖し、フラスコ内の水が白く濁ってきます。そして、黒い石油は減少していきます。写真Bは、微生物を3日間培養した状態です。

[🔍 クリックして拡大](#)

石油タンカーが座礁したりして石油が海に漏れだし、海や海岸などの環境が汚染されてしまうことがあります。この環境中に石油を食べる微生物を入れてやれば、フラスコの実験と同じように微生物がどんどん石油を食べ、環境をきれいにしてくれます。このような仕組みをバイオレメディエーションと呼び、環境汚染を解決する新しい方法として実用化されつつあります。

[▶ 「イラスト・写真館」目次に戻る](#)